

市政ぎふ未来

市議会 Report

No.1

新しい市議会の新しい会派。
市民の皆さまの声をぎふの
未来のために市の行財政に
反映させてまいります。

発行日：2011年7月20日
発行所：市政ぎふ未来
〒500-8701 岐阜市今沢町18
岐阜市議会 第6議員控室
TEL058-265-4141 FAX058-264-0653

6月議会 ぎふ未来 質問戦デビュー 災害に強いまちづくりなど12項目の幅広い分野で

6月16、17日と20、21日に開催された岐阜市議会6月定例会の質疑・一般質問において、市政ぎふ未来所属の3議員は全員が登壇し、市政全般にわたる幅広い分野について質問や提案を行いました。

6月議会は、東日本大震災後初の定例会であり、全会派から代表質問等で、市の防災体制の見直しや被災地支援、原発やエネルギー関係の質問が集中しました。わが市政ぎふ未来からは、信田朝次議員が、代表質問で東海環状自動車道や市民健康づくりなど5項目、新人として初登壇の石井浩二議員は長良川鵜飼伝承館や市職員の地域活動についてなど4項目、松原和生議員が災害に強いまちづくりについてを中心に3項目の質問を行いました。

質問内容と主な答弁は以下のとおりです。



新しいメンバーによる活発な議論が期待される岐阜市議会

6月17日 代表質問 信田朝次議員



質疑内容を街頭報告

内容	答弁者
東日本大震災被災地復興支援について ・「元気なぎふ応援基金」復興支援窓口の設置について	成原副市長
東海環状自動車道西回り区間の整備について	武政副市長
第二次ぎふ市民健康基本計画とウォーキングによる健康づくり支援について	健康部長
B級グルメ発掘事業について	商工観光部長
子ども遊び場について	教育長

- ふるさと寄付金の受け皿である「元気なぎふ応援基金」に被災地支援の寄付受け入れは制度になじまないが積立項目として、テーマ性やアピール性のあるものは今後も設定を検討していく
- 西回り区間も有料道路事業の導入が決定、平成32年度までに全線開通を目指す方針が公表された。岐阜ICへのアクセス道路整備もこれに間に合うよう、国・県などと連携し事業を進めていく
- ウォーキングによる健康づくり支援のための校区別ウォーキングマップを来年度に作成する
- 市民参加で「岐阜市の味」となりうる料理を決め、B-1グランプリに出場する団体を育成していく
- 市内231箇所ある子ども遊び場は、今年度予算で遊具の修理・撤去を行ない、地元管理者と連携して維持管理を進める

6月20日 一般質問 石井浩二議員



初登壇でフレッシュな質問

内容	答弁者
市職員の地域活動等への参加について	市民参画部長 行政部長
岐阜市の契約における仕様書について	行政部長
梅林公園の駐車場について	理事兼都市建設部長
岐阜市長良川鵜飼伝承館の収支見込みについて	商工観光部長

- 協働型市政運営行動計画において市の重点、推進政策の一つに「市職員の社会貢献活動」を掲げ、市職員のボランティア参加の呼びかけや研修を行なっていく。またボランティア休暇の取得推奨や、市職員の評価制度にも地域活動項目を入れている。
- 担当者が一層業務内容に精通し、適正な仕様書作成に努めるよう周知徹底を図り、透明性、公平性を確保した契約をしていきたい。
- 一般車両用の駐車場確保は困難だが、地域の皆様と協議して障がい者用の駐車場は確保したい。
- 設置目的は、郷土の誇りである「長良川の鵜飼」を広く紹介、発信するもので、赤字運営となるが、地域にもたらす経済波及効果は年間24億円と試算している。

6月21日 一般質問 松原和生議員



質問戦 締めくくりに登壇

内容	答弁者
災害に強いまちづくりに関して ・想定の見直しと対策費用について	武政副市長
みずからの安全を守る周知と啓発について	都市防災部長兼消防長
防災行政無線の難聴地域について	都市防災部長兼消防長
地域で助け合う体制の確立について	市民参画部長
消防団、水防団の任務について	武政副市長
司令塔となる市庁舎の現状について	行政部長

内容	答弁者
災害時の拠点となる新市庁舎建設について	行政部長
児童生徒の安全確保について	教育長
「長良川おんぼく」の取り組みについて	商工観光部長
公立高校入試制度の見直しについて	教育長

- 今年度、災害被害想定調査を実施し、地域防災計画の見直しを行う。現段階で対策費用の規模は示せないが、短期、中・長期に分け、それぞれに必要な財源措置を講ずる。
- 災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」の連携が重要。災害時要援護者の登録や災害情報配信サービスの利用を高めるなど、啓発に努める。
- 防災行政無線の更新整備は完了しているが、難聴地域のスピーカーの向きや音量の調整を実施する。放送内容を確認できるサービス(267-5010)の周知も図る。
- 今回の大震災を教訓に、一人でも多く自治会や地域の各種団体に加入されるよう、加入促進に取り組み、地域力の向上を図る。
- 大規模な災害時には、消防団と水防団の協力が必要であり研修等を行う。また、水防団(水防法)の活動範囲の拡大を国に働きかける。
- 昭和41年に建設された市庁舎は老朽化が進み、手狭で分散しているなど、十分な状況と

- は言えない。今は、現在のスペースを、より安全に、より有効に活用するよう努める。
- 東日本大震災で、災害時に行政の果たす役割の重要性が再認識されている。現在の市庁舎は前項のとおり状況であり、新庁舎の建設を検討する時期であると認識している。
 - 各小中学校で、様々な場面を想定した避難訓練、保護者の引き渡し訓練等に努める。児童生徒の防災意識と判断力を向上させるとともに、防災マニュアルの見直しを行う。
 - 長良川おんぼくが、市の観光資源を発掘・再発見し、観光客の増加につながることを期待する。県の単年度事業であるが、今後も継続されるよう、市として応援していく。
 - 高校の特色化選抜と一般選抜の2回とする入試制度は、平成14年度に開始された。様々な問題点も生じており、県教育委員会の諮問会が、現在の中2から一本化する方向で審議中。入試制度が公正・公平であり、入試体験が有益なものとなるような工夫が必要。

※詳細は、岐阜市議会ホームページの本会議録等をご参照ください。

また、同ホームページでは、全ての本会議の様相を生中継の他、いつでも録画中継でご覧いただくことが出来ます。

※次回、9月定例会は、平成23年9月6日(火)に開会予定です。

新会派「ぎふ未来」誕生

4月24日の岐阜市議会議員選挙では、新人9人、現職30人、現職2人の計41名の議員が当選し、新たな会派づくりが行なわれました。

5月2日、私たちは岐阜市議会に新しい会派「市政きふ 未来」を結成し活動をスタートしました。

- 会派名** 市政きふ未来
- メンバー** 松原 和生 (4期)
信田 朝次 (2期)
石井 浩二 (1期)



新会派結成の記者会見(岐阜放送より)

基本方針

- 岐阜市の未来に責任ある市政運営を行う
- 市民にわかりやすい議会活動を展開する
 - ①議会改革を推進するグループ
(議会基本条例の制定、議員定数の削減、議会の透明化…)
 - ②行財政改革を継続するグループ
(市政の改良・改善そして改革、岐阜市版事業仕訳、選択と集中…)
 - ③安心、元気、希望に満ちたまちづくりを提言、行動するグループ
(しっかりと政策を提案し、情熱をもって実現を目指す…)
 - ④共に学び、議論し、能力を高め合うとともに、方向を同じくする他会派とも協力して活動するグループ
 - ⑤常に「市民が主役」を基本に考え、議員活動を最優先させる超党派のグループ(国政・県政への対応はフリー)
- ◆最大会派ではなく、最良会派を目指す
- ◆他市の同志議員とも広く連携し、情報交換、切磋琢磨に励む
- ◆広報活動を重視し、情報発信を積極的に展開する



幹事長 当選4回

松原 和生

昭和39年12月28日生 血液B型
〒50-8042 岐阜市末広町12番地9
TEL058-264-4853 FAX058-264-4800

- 総務委員会委員
- 総合交通対策特別委員会委員長
- 公営企業経営審議会委員
- ぎふ清流国体・ぎふ清流大会岐阜市実行委員会参与 他

http://www.matsubara-kazuo.jp E-mail info@matsubara-kazuo.jp



副幹事長(政調担当) 当選2回

信田 朝次

昭和24年1月1日生 血液O型
〒501-1131 岐阜市黒野73番地9
TEL058-293-4522 FAX058-293-4523

- 建設委員会委員 ●議会運営委員会委員
- 高齢・少子化社会対策特別委員会委員
- ごみ問題・産業廃棄物不法投棄対策特別委員会委員
- 農業委員会委員 ●屋外広告物審議会委員
- ぎふ清流国体・ぎふ清流大会岐阜市実行委員会参与 他

http://www.geocities.jp/nobu557/



副幹事長(総務担当) 当選1回

石井 浩二

昭和35年9月19日生 血液A型
〒500-8162 岐阜市高尾町1丁目3番地
TEL058-264-0356 FAX058-265-1669

- 産業委員会副委員長
- 都市活性化対策特別委員会委員
- 市岐商問題対策特別委員会委員
- 小学校及び中学校通学区域審議会委員
- ぎふ清流国体・ぎふ清流大会岐阜市実行委員会参与 他

http://ishiigifu.com E-mail k.k.ishii@tenor.ocn.ne.jp

6月定例会で決まった事

詳細は7月15日の「広報ぎふ」をご覧ください

予算 ◇補正予算が可決

- ・道路・河川の整備費や介護保険周辺対策費など一般会計補正予算 11億4,245万円
 - ・下水道拡張事業など下水道事業会計補正予算 2億7,940万円
- 以上2件を原案とお可決しました。

条例 ◇畜産センターが都市公園になり、指定管理者による管理となります。

- ・畜産センターを廃止する条例
- ・都市公園条例の一部を改正する条例

以上2件を原案とお可決し、来年度より農林部所管の畜産センターは廃止、都市建設部所管の都市公園「岐阜市畜産センター公園」に改編され、指定管理者の管理に移行します。

◇長良川うかいミュージアムが誕生します。

- ・長良川鵜飼伝承館条例が制定されました。
 - ・愛称は公募により「長良川うかいミュージアム」に決定しました。
- その他、10の条例の一部改正が行われました。

その他

- ・教育委員会委員の任命については同意、市道路線の認定と町字の名称及び区域の変更については原案とお可決されました。

意見書可決

- ・東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書
- ・地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書
- ・公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

請願採択

- ・地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願

話題のテーマ

写真は岐阜市と長良川温泉泊覧会実行委員会にご協力いただきました

◇東海環状自動車道西回り区間

東海環状自動車道西回り区間については、3月末に岐阜県において、最終的なルートが決定されました。その後、6月8日に整備方式を国による一般国道事業と中日本高速道路株式会社の有料道路の併用で実施することとし、平成32年度(2020年)までに全線開通を目指すことが発表されました。

中日本高速道路負担	553億円
国の直轄事業費	6,177億円
総事業費	6,730億円

尚、国の直轄事業費のうち県の負担は平成24年度から平成32年度まで1,340億円が見込まれています。

◇長良川うかいミュージアム

現在建設中の岐阜市長良川鵜飼伝承館の愛称が、公募され、審査の結果、長良川うかいミュージアムに決定しました。

この施設は、1300年の歴史のある長良川の鵜飼を文化資産として伝承する場であり、幽玄の都「岐阜」を全国発信するとともに滞在型・周遊型観光の拠点となる施設です。

- 本館建物2階建
 - 1階 屋外実演スペース、多目的スペース、鵜飼・長良川シンボルステージ、長良川鵜飼・歴史絵巻、鵜匠の世界、鵜の世界、鮎と長良川の世界
 - 2階 篝火トンネル、鵜飼ガンダンスシアター、特別展示室、長良川鵜飼の歴史・トピックスコーナー

その他、鵜の生態展示コーナー、休憩所 四阿(あずまや)、駐輪場・トイレの他、駐車場(バス6台、身障者用2台、一般用67台)あり



鵜飼を核とする通年型観光施設長良川うかいミュージアムのイメージ図 ▶

◇長良川おんぱく(長良川温泉泊覧会)

「長良川おんぱく」とは、長良川温泉泊覧会の略。本市では今年が初めての取り組みであり、川原町界隈や岐阜公園周辺エリアを中心に、10月一ヶ月間の開催が予定されています。地域の潜在的な観光資源を発掘・再発見し、「金華山城攻め登山」「長良川自転車散歩」「手提げ提灯と着物で巡る夕闇散歩」など岐阜市ならではの魅力溢れる50種類以上の体験交流型プログラムを計画。実行委員会には市の活性化を願って地元のまちづくり団体等も参画、県の補助事業で事務局は岐阜長良川温泉旅館協同組合。7~9月にはプレイベントを開催します。



体験交流プログラム(案)「お屋の船 あそび水うちわ船」のイメージ写真 ▶

◇ウォーキングで「健幸」のまちづくり

岐阜市は医療・健康立市を掲げ「市民誰もが健康かつ生きがいを持ち安心安全で豊かな生活を営むことができるまち」を目指し、今年度から5年間の第2次ぎふ市民健康基本計画をスタートさせました。

現在、1日8000歩以上歩く岐阜市民は3分の2以下ですが、これを5年間で80%以上にするなどの市民の健康に関する数値目標をたて、生活習慣病の予防や生活習慣の向上をはかります。

このうち、ウォーキングを特に推奨、長良川ツーデーウォークの開催、ウォーキングマップの作成など歩くことで健康推進のメッセージを展開、発信していきます。



6月4日・5日、全国各地から1,500人以上が参加した長良川ツーデーウォーク ▶